

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 001

【1.基本情報】

事業名	文化財説明板設置・修繕事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和38 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市内の文化財及び歴史的な場所についての周知と認識の高揚を図り、まちづくり、人づくりに活用する。				
事業の内容	岐阜市の文化財及び歴史的なゆかりのある場所について、広く一般に周知するため、説明板及び案内標識等の設置を行う。				
事業の対象	何を	文化財説明板、文化財案内標識、歴史案内標識			
	誰に	一般市民、その他岐阜市への来訪者			
	どのくらい	設置可能指定文化財で未設置説明板(5件)、新指定文化財のうち2基			
令和3年度(実施内容)	説明板設置1件(石造狛犬) 説明板貼替等12件(弘峰寺の文化財、盛徳寺の文化財ほか)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	850	25	1,138	35	1,615	50
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	850	25	1,138	35	1,615	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		445	529	680
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	工事負担金	214	140	70
	修繕料	231	389	610
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		445	529	680

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,295	1,667	2,295

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			440
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	440

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,295	1,667	1,855

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	来訪市民及び文化財所有者	来訪市民及び文化財所有者	来訪市民及び文化財所有者
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3	4	5

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	新規設置数		単位	基
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	2		2	1
実績値	1		2	13

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	岐阜市民であることに誇りを感じる割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	55.0		55.0	55.0
実績値	51.6		53.2	53.2
達成状況	×(未達成)	×(未達成)		×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	<p>現地を訪れた全ての人に当該文化財等の由来や歴史的意義を分かりやすく提供するための手段として必要である。</p> <p>文化財普及啓発事業は市教育委員会が行う事務として法令で規定されている。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>外国語表記も含めて表現や視覚効果等を考慮して設置しており、身近に歴史的価値を知っていただく手段として有効である。</p> <p>設置・維持管理費用を確保する方策として、説明板への広告掲載などの検討も今後必要と考えている。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	<p>本市に所在する文化財や歴史的に重要な意味を有する施設などの情報を市民や来訪者に分かりやすく提供する手段として非常に効果が大い。</p>
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	<p>市民や来訪者が等しく受益するものであり、公平である。</p>
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	<p>既設の説明板は老朽化が進み、状況に応じて逐次改修や更新をしていく必要がある。また、文化財の新規指定により説明板新規設置対象が毎年度生じることから、状況に応じた計画的な設置・更新等を進めていく必要がある。</p> <p>併せて、外国語表記については、外国の方がすぐに理解できる高度な表記(翻訳)が求められており、今後、翻訳方法について費用対効果を鑑みながら再検討していく必要がある。</p>

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 002

【1.基本情報】

事業名	元町1丁目織田塚保存会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	元町1丁目織田塚保存会
実施期間	昭和32 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則	

【2.事業概要】

事業の目的	織田信長公の美濃進出の過程を伝える岐阜市史跡「織田塚」の保存と活用を促進し、地域の人づくり、まちづくりの活性化を支援する。				
事業の内容	元町1丁目織田塚保存会に対する運営費補助。会の主な活動内容は、市史跡「織田塚」(市所有地)の除草、樹木の剪定、清掃、献花等。				
事業の対象	何を	補助金			
	誰に	元町1丁目織田塚保存会			
	どのくらい	団体総事業費(令和3年度 18,402円)の約50%			
令和3年度(実施内容)	会の活動に対し、補助金を交付した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		10	10	10
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	10	10	10
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		10	10	10

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	44	43	42

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	44	43	42

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	保存会会員	保存会会員	保存会会員
受益者数	7	7	7
受益者負担額(千円)	8,400	8,400	8,400
受益者負担率(%)	19090.9%	19764.7%	19858.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,286	6,071	6,043

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	10	10	10	
実績値	10	10	10	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	団体総事業費に占める市補助金割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	40	40	40	
実績値	54	54	54	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域住民を中心に、市民が守り受け継いできた市文化財の市民参加による保護活動である。 文化財を市民とともに守り伝える事業として、市が支援すべき市民活動である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	史跡は市有地であり本来は市で管理すべきところを、市民自身で管理いただいているものであり、市の支援手段として有益である。 市民が主体的に管理していただいております、市民協働そのものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市の歴史遺産の保存や普及において、市民主体で守り、受け継がれている活動への支援策として非常に有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	当事業を通じて活動が継続することで、地域の人材育成や活性化などに寄与するものであり、特定者に利益を供与するものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	市内に278件ある文化財(令和元年時点)の中で、補助対象者を非公募としながら、当該団体をはじめ特定の者に継続的に補助することは、公平性の観点から疑問があると令和2年度の包括外部監査において指摘を受けた。補助金交付の公正・公平を確保するため、事業補助に切り替えた。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 003

【1.基本情報】

事業名	中将姫誓願桜保存会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	中将姫誓願桜保存会
実施期間	昭和62 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則	

【2.事業概要】

事業の目的	国指定天然記念物「中将姫誓願ザクラ」の保存と活用を促進し、地域の人づくり、まちづくりの活性化に寄与する。				
事業の内容	中将姫誓願桜保存会に対する運営費補助。会の主な活動内容は、総会・観桜会の開催、開花期における除草や枝払い作業等。				
事業の 対象	何を	補助金			
	誰に	中将姫誓願桜保存会			
	どのくらい	団体総事業費(令和3年度 670,224円)の約6%			
令和3年度 (実施内容)	会の活動に対し、補助金を交付した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		40	40	40
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	40	40	40
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		40	40	40

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	74	73	72

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	74	73	72

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	保存会会員	保存会会員	保存会会員
受益者数	527	475	486
受益者負担額(千円)	527	475	486
受益者負担率(%)	712.2%	655.2%	672.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	140	153	149

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	40	40	40	40
実績値	40	40	40	40

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	団体総事業費に占める市補助金割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	5	5	5	5
実績値	4	6	6	5
達成状況	○(達成)	×(未達成)		○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民参加による文化財の保護活動であり、地域ニーズも高い。 文化財保存に関する取組みを市民参加により行っている団体への助成であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の負担で貴重な文化財保存・継承活動を支援するものであり、有効である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	貴重な文化財保存・継承活動に寄与するものであり、中将姫誓願桜の名は県外にも知られ、桜の開花時期には、各地から毎年多くの来訪者があることから、非常に有効である。(なお、令和3年度の観桜会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行事中止となり、供養祭のみ実施した。)
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市の文化財の保存・継承に資する事業であり、特定者に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善 (統合・縮小含む)	市内に278件ある文化財(令和元年時点)の中で、補助対象者を非公募としながら、当該団体をはじめ特定の者に継続的に補助することは、公平性の観点から疑問があると令和2年度の包括外部監査において指摘を受けた。補助金交付の公正・公平を確保するため、事業補助に切り替えた。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 004

【1.基本情報】

事業名	中山道加納宿文化保存会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	中山道加納宿文化保存会
実施期間	昭和54 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則	

【2.事業概要】

事業の目的	旧中山道とその宿場町であった加納宿にある歴史資産の保存と活用を促進し、地域の人づくり、まちづくりの活性化に寄与する。				
事業の内容	中山道加納宿文化保存会に対する運営費補助。会の主な活動内容は、会誌「中山道加納宿」の発行等。				
事業の対象	何を	補助金			
	誰に	中山道加納宿文化保存会			
	どのくらい	団体総事業費(令和3年度 539,581円)の約15%			
令和3年度(実施内容)	会の活動に対し、補助金を交付した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		80	80	80
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	80	80	80
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		80	80	80

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	114	113	112

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	114	113	112

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	保存会会員	保存会会員	保存会会員
受益者数	278	249	200
受益者負担額(千円)	278	249	200
受益者負担率(%)	243.9%	221.3%	178.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	410	452	562

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	80	80	80	80
実績値	80	80	80	80

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	団体総事業費に占める市補助金割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	6	6	6	6
実績値	6	5	5	7
達成状況	○(達成)	○(達成)		×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民参加による歴史資産や文化財の保存、継承活動であり、地域ニーズも高い 文化財保存に関する取組みを市民参加により行っている団体への助成であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の負担で貴重な歴史資産や文化財の保存・継承活動に寄与するものであり、有効である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	貴重な文化財保存・継承活動に寄与するものであり、地域の活性化やまちづくり振興においても有効と見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市の歴史資産の保存・継承に資する事業であり、特定個人に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善 (統 合・縮 小含 む。)	市内に278件ある文化財(令和元年時点)の中で、補助対象者を非公 募としながら、当該団体をはじめ特定の者に継続的に補助することは、 公平性の観点から疑問があると令和2年度の包括外部監査において 指摘を受けた。補助金交付の公正・公平を確保するため、事業補助に 切り替えた。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 005

【1.基本情報】

事業名	琴塚顕彰協会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	琴塚顕彰協会
実施期間	昭和25 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則	

【2.事業概要】

事業の目的	国史跡「琴塚古墳」の保存と顕彰を促進し、地域の人づくり、まちづくりの活性化に寄与する。				
事業の内容	琴塚顕彰協会に対する運営費補助。会の主な活動内容は、琴塚古墳の除草・清掃・見廻り、琴塚顕彰祭の開催等。				
事業の 対象	何を	補助金			
	誰に	琴塚顕彰協会			
	どのくらい	団体総事業費(令和3年度 70,000円)の約57%			
令和3年度 (実施内容)	会の活動に対し、補助金を交付した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		40	40	40
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	40	40	40
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		40	40	40

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	74	73	72

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	74	73	72

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	保存会会員	保存会会員	保存会会員
受益者数	316	338	348
受益者負担額(千円)	30	30	30
受益者負担率(%)	40.5%	41.4%	41.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	234	214	208

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	40	40	40	40
実績値	40	40	40	40

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	団体総事業費に占める市補助金割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	40	40	40	40
実績値	51	57	57	57
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民参加による文化財の保護活動であり、地域ニーズも高い。 文化財保存に関する取組みを市民参加により行っている団体への助成であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	史跡は公有地であり、本来は市で管理すべきところの一部を、地域の住民が清掃等に協力している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	貴重な文化財保存・継承活動に寄与するものであり、地域の活性化やまちづくり振興においても有効と見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市の歴史資産の保存・継承に資する事業であり、特定個人に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	市内に278件ある文化財(令和元年時点)の中で、補助対象者を非公募としながら、当該団体をはじめ特定の者に継続的に補助することは、公平性の観点から疑問があると令和2年度の包括外部監査において指摘を受けた。補助金交付の公正・公平を確保するため、事業補助に切り替えた。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 006

【1.基本情報】

事業名	高桑太鼓保存会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	高桑太鼓保存会
実施期間	昭和63 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則	

【2.事業概要】

事業の目的	柳津地域の郷土伝統芸能で市指定無形民俗文化財である、高桑太鼓を伝承するため、後継者を育成するとともに、地域活動等に参加し普及・啓発を図り、地域社会の活性化に貢献する。				
事業の内容	高桑太鼓の伝承のため、後継者を育成するとともに、地域活動等に参加し普及・啓発を図り、地域社会の活性化に貢献する事業に対し、補助金を交付する。				
事業の 対象	何を	補助金			
	誰に	高桑太鼓保存会			
	どのくらい	団体総事業費(令和3年度 200,343円)の約15%			
令和3年度 (実施内容)	会の活動に対し、補助金を交付した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		30	0	0
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	30	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		30	0	0

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	64	33	32

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	64	33	32

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	保存会会員	保存会会員	保存会会員
受益者数	42	42	42
受益者負担額(千円)	10	0	0
受益者負担率(%)	15.6%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,524	774	769

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	30	0	0	0
実績値	30	0	0	0

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	団体総事業費に占める市補助金割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	18	18	18	18
実績値	24	-	-	-
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	低	市無形民俗文化財の保存・継承活動である。 本市の歴史資産である文化財を維持するために必要な経費である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の負担で貴重な歴史資産や文化財の保存・継承活動に寄与するものであり、有効である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	低	(新型コロナウイルス感染症流行防止の観点から、R2・R3の2年間、地域における団体の活動がストップしており、補助金も全額返還されている状況にあり、有効性についての事業評価は困難である。)
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市の歴史資産の保存・継承に資する事業であり、特定個人に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	市内に278件ある文化財(令和元年時点)の中で、補助対象者を非公募としながら、当該団体をはじめ特定の者に継続的に補助することは、公平性の観点から疑問があると令和2年度の包括外部監査において指摘を受けた。補助金交付の公正・公平を確保するため、事業補助に切り替えた。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 007

【1.基本情報】

事業名	長良川流域の文化的景観保存調査事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成20 年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法、景観計画、歴史的風致維持向上計画、重要文化的景観・長良川中流域における岐阜の文化的景観整備計画	

【2.事業概要】

事業の目的	ぎふ長良川の鵜飼をはじめとする豊かな漁業文化の舞台となってきた流域や道三・信長の都市計画を伝える旧城下町の文化的景観の価値を明らかにし、良好な景観の継承と望ましい景観形成の仕組みを作るため。				
事業の内容	①文化的景観保存調査 ②文化的景観保存計画の策定 ③文化的景観選定の申出・選定 ④修理・整備・復旧防災等の事業。				
事業の 対象	何を	国重要文化的景観選定による文化財を活かしたまちづくりの推進			
	誰に	岐阜市民			
	どのくらい	重要文化的景観による文化財として価値づけ、国の支援			
令和3年度 (実施内容)	重要な構成要素である「金鳳山正法寺」について、これまでの調査成果をまとめた報告書の作成準備を進めた。また、調査データを基に作成した3D動画を市ホームページ等で公開、重要な構成要素の個別パンフレットの作成等、文化的景観の普及事業を行った。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,800	200	6,500	200	6,460	200
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	6,800	200	6,500	200	6,460	200

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		7,004	4,675	1,548
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	6,011	3,198	286
	印刷製本費	0	957	0
	報償費	327	227	819
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		7,004	4,675	1,548

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	13,804	11,175	8,008

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	2,870	1,883	0
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	2,870	1,883	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	10,934	9,292	8,008

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	27	23	20

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	長良川流域の文化的景観検討委員会開催数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2	2	2	2
実績値	2	1	1	1

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	伝統的家屋等詳細調査件数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	0
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本市の歴史・観光資源であり、市民共通の財産として最も重要な金華山・長良川流域の景観形成や継承を図る上で必要不可欠である。 景観を守っていくためには行政だけでなく、そこに住む住民の理解も必要であり、事業推進にあたり常に市民と協働で実施することを意識していく必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	将来的な本市の歴史的価値や観光資源としての価値向上に大きく寄与するものであり、効果は非常に大きい。 周辺住民の理解も含めて、事業推進にあたっては市民協働を意識し推進していく。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	日本遺産の認定にあたって、文化的景観で得られた成果が大きく貢献した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	当事業の成果は、本市の財産として市民が等しく享受するものである。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	景観計画や平成25年4月に認定された歴史的風致維持向上計画等の関係法令や計画との整合性、庁内関係課などとの調整を図りながら事業を推進する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 008

【1.基本情報】

事業名	原三溪顕彰事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	原三溪・柳津文化の里構想実行委員会
実施期間	平成24 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則	

【2.事業概要】

事業の目的	原三溪の功績や遺徳を顕彰し、柳津地域周辺のまちづくりのほか、市民の地域に対する理解と郷土愛の醸成に寄与することを目的とする。				
事業の内容	原三溪の業績の顕彰活動を行う。 市民を対象とした原三溪にかかわる見学会や研修会を行う。 関係機関、団体と協力して原三溪顕彰に関わる諸事業を行う。				
事業の対象	何を	補助金			
	誰に	原三溪・柳津文化の里構想実行委員会			
	どのくらい	団体総事業費(令和3年度 350,164円)の約22%			
令和3年度(実施内容)	会の活動に対し、補助金を交付した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	68	2	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	68	2	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		80	80	80
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	80	80	80
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		80	80	80

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	148	113	112

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	148	113	112

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	会員	会員	会員
受益者数	76	68	68
受益者負担額(千円)	152	136	136
受益者負担率(%)	102.7%	120.9%	121.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,947	1,654	1,651

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	80	80	80	80
実績値	80	80	80	80

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	団体総事業費に占める市補助金割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	30	30	30	30
実績値	16	26	26	22
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民主導による郷土の偉人の顕彰・啓発活動である。 市が推進している偉人の顕彰に関する取組みを、市民参加により行っている団体への助成であり必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	近代日本の発展に貢献した郷土の偉人の普及・啓発に協力いただき、補助金額に比して有効である。 市民主体の活動に対する助成であり、市民協働の取組みを支援するものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	地元の小中学校の総合学習等にも組み込まれ、各校で学習内容の充実が進むなど、地域の青少年の健全育成や、まちづくりの活性化に貢献している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	郷土の偉人の顕彰事業は、市民が地域に対する理解を深め、郷土愛を醸成する基盤となるものであり、また、市民との協働のまちづくりと文化の向上に資するもので、特定個人に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	他の文化財保存活用団体等との公平性の確保に留意しつつ、顕彰事業の今後のあり方を整理していく必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 009

【1.基本情報】

事業名	史跡加納城跡整備事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成12年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法	

【2.事業概要】

事業の目的	史跡や文化財を活かしたまちづくりを推進するために、市内の歴史遺産を調査・整備し、適切な維持管理と活用を行う必要がある。				
事業の内容	①加納城跡整備基本構想、史料調査、保存活用計画 ②本丸内発掘調査、調査報告書作成 ③本丸北東側堀跡内民有地買い上げ				
事業の 対象	何を	加納城跡の整備による「歴史遺産を活かしたまちづくり」の推進			
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客			
	どのくらい	岐阜市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供			
令和3年度 (実施内容)	本丸の石垣測量調査				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,700	50	1,625	50	1,615	50
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,700	50	1,625	50	1,615	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		3,605	1,658	1,604
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	3,605	1,428	1,078
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,605	1,658	1,604

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,305	3,283	3,219

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	1,714	950	1,100
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	1,714	950	1,100

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	3,591	2,333	2,119

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	220,000	220,000	220,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16	11	10

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	調査面積		単位	m ²
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	200	200	200	
実績値	264	165	209	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	岐阜市民であることに誇りを感じる割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	52	53	53	
実績値	51.5	53.2	53.2	
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市の貴重な歴史文化資源の一つとして全容を明らかにし、今後の保存及び活用に資するとともに、本市の独自性を全国にアピールしていく上で必要不可欠である。 当該史跡の管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜城に次ぐ歴史資産として、将来的な歴史文化的価値の明確化や新たな観光資源としての活用につながるものであり、非常に有為である。 史跡の調査、整備、活用については管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	石垣の測量により、現状把握及び将来の史跡整備に必要な基礎資料が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	本市の歴史遺産として市民が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	国史跡加納城跡として今後保存管理計画や整備計画等を策定し、体系的な保存・活用の推進が求められている。しかし、文化財保護行政においては、他に解決すべき課題が多く存在しており、全体の進捗状況を見ながらバランスよく事業を進めていく必要がある。 維持管理については、関係部局と協議して効率のよい体制を構築していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 010

【1.基本情報】

事業名	史跡岐阜城跡整備事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類	-	実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法	

【2.事業概要】

事業の目的	国史跡岐阜城跡の調査や整備、活用を行い、岐阜市の観光振興、地域活性化に資する。史跡の管理団体として、適切な維持管理と整備活用を行う必要がある。				
事業の内容	山麓居館の整備及び山上部の発掘調査。整備計画等に基づく石垣等の維持管理、看板設置及び修繕。				
事業の対象	何を	史跡岐阜城跡の保存活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進			
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客			
	どのくらい	約40万市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供			
令和3年度(実施内容)	岐阜城山上部発掘調査及び史跡岐阜城跡整備委員会を実施。また、山上部看板の修繕、樹木の剪定を行った。 発掘調査現地公開は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、未実施。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	23,800	700	22,750	700	22,610	700
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	23,800	700	22,750	700	22,610	700

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		41,608	38,145	40,672
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	38,301	30,320	29,517
	修繕料	428	39	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		41,608	38,145	40,672

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	65,408	60,895	63,282

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	2,299	2,353	2,305
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	2,299	2,353	2,305

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	63,109	58,542	60,977

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	220,000	220,000	220,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	287	266	277

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	委員会会議回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2	3	3	
実績値	1	—	2	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	発掘調査現地公開参加者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,200	800	800	
実績値	3,500	—	—	
達成状況	○(達成)	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民や歴史ファンの関心度が高く、全国に岐阜市をPRするために欠かせない。 維持管理については金華山国有林の管理者である林野庁も実施しているが、史跡の調査、整備、活用については管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	新聞・テレビ等の報道による宣伝効果は非常に高い。 史跡の管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	岐阜市の歴史文化を明らかにし、都市の独自性を全国にアピールしていく上で欠かせない。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	当事業による成果は、本市の歴史遺産として市民が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜市を全国にPRするうえで欠かせない事業と考える。引き続き山上部の発掘調査を実施するとともに、整備基本計画に基づいた整備を行う。山上部の発掘調査における市民・観光客の関心は非常に高い。マスコミ等への情報提供、広報広聴課等との連携により情報発信の質を高めていく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 011

【1.基本情報】

事業名	信長学フォーラム				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成20 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	発掘調査事業及び史跡整備等のハード事業に対するソフト事業として、全国の信長公ファンを対象にシンポジウムを実施し、道三公・信長公のまち岐阜としての情報発信を行う。				
事業の内容	シンポジウム『信長学フォーラム』開催				
事業の対象	何を	信長公居館発掘調査・活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進			
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客			
	どのくらい	岐阜市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供			
令和3年度(実施内容)	第15回信長学フォーラム				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,720	80	2,600	80	2,584	80
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	2,720	80	2,600	80	2,584	80

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		2,790	2,278	1,894
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	850	273	394
	印刷製本費	326	287	0
	委託料	1,386	1,496	1,265
	会場使用料	228	219	221
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		2,790	2,278	1,894

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,510	4,878	4,478

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,510	4,878	4,478

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン
受益者数	600	250	150
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	9,183	19,512	29,853

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	500	250		150
実績値	509	153		152

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	満足度(参加者アンケート)		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	95	95		95
実績値	80	89		82
達成状況	×(未達成)	×(未達成)		×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	毎回定員を超える申し込みがあり、ニーズが高い。 道三公・信長公のまち岐阜をPRする上で直接実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市の独自性を全国にアピールする効果が高い。 行政だけでなく、民間団体と協働して、道三公・信長公のまち岐阜をPRしていくことで、さらに都市ブランドを構築していくことができる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	発掘事業とあわせて、本市の歴史的成り立ちを市民が学ぶ機会として、また、都市の独自性を全国にアピールしていく上で有為である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	信長公の事績を中心に本市の歴史資産の重要性を広く市民と共有するもので、市民が公平に受益するものである。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	「信長学」、「道三公・信長公のまち岐阜」を全国にPRするために、行政だけでなく民間団体と協働して盛り上げていく必要がある。 各課に協力を依頼していたイベント当日の受付・誘導業務を業務委託するなど、職員の負担軽減と業務効率化を進める。 大河ドラマと連動して開催するなど、内容面のブラッシュアップを行っていく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660080	__ 012
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	信長塾				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成21 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	発掘調査事業及び史跡整備等のハード事業に対するソフト事業として、信長公とその時代に関する歴史講座を開催する。				
事業の内容	講座「信長塾」開催				
事業の対象	何を	信長公居館発掘調査・活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進			
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客			
	どのくらい	約40万市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供			
令和3年度 (実施内容)	令和3年度「信長塾オンライン」(連続5回講座)をオンライン開催 ※オンライン受講&会場でのオンライン受講を実施(新型コロナウイルス感染症の影響により、会場でのオンライン受講は2回のみ)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	680	20	0	0	646	20
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	680	20	0	0	646	20

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		239	0	175
直接事業費の主な内訳				
項目	報償費	180		140
	旅費	0		20
	会場使用料			15
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		239	0	175

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	919	0	821

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	919	0	821

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン
受益者数	200	200	200
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%		0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,595	0	4,105

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加者数(延べ人数)		単位	人
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	900	—		950
実績値	853	—		412

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	満足度(参加者アンケート)		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	90	—		90
実績値	90	—		94
達成状況	○(達成)	—		○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	毎回定員を超える申し込みがあり、ニーズは非常に高い。 信長公を通じた本市の歴史的成り立ちや実績を発掘調査成果なども踏まえて市民と共有し、さらに、道三公・信長公のまち岐阜として全国に発信し、本市の観光振興にも資するための事業として市が直接実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	信長公を核とする戦国期における本市の歴史的重要性や独自性を学び、発信する機会として効果が高い。 行政だけでなく、民間団体と協働して「道三公・信長公のまち岐阜」をPRしていくことで、さらに都市ブランドを構築していくことができる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	本市における信長公の歴史的重要性を広く市民が学ぶとともに、道三公・信長公のまち岐阜としての本市の独自性をアピールすることに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	本市の歴史遺産を学ぶ機会として市民が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	「信長公」「道三公・信長公のまち岐阜」を全国にPRするために、講座を通じてふるさとの歴史を市民が学び、来訪者に還元できるように人材を育成する必要がある。 毎年定員を上回る申込がある人気講座であるため、低予算で質の高い講師の発掘に努め、より高い満足度となるようにしていく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 013

【1.基本情報】

事業名	長良川鶺鴒文化未来継承事業（旧・鶺鴒の総合的調査事業）				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市 他
実施期間	平成17 年度～	年度	根拠法令・関連計画	無形文化遺産保護条約、文化財保護法、重要無形民俗文化財保存活用計画 等	

【2.事業概要】

事業の目的	長良川の鶺鴒文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していく。そのための手段として、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組をオール岐阜で推進する。				
事業の内容	4つの細事業である【Ⅰ】ユネスコ申請準備、【Ⅱ】魅力発信、【Ⅲ】保存活用、【Ⅳ】総合調査を一体的に取り組み、SDGs未来都市・岐阜市が推進している持続可能な都市づくりをさらに加速させる。				
事業の対象	何を	鶺鴒文化の価値や魅力の顕在化、継承及びそれを活かした観光まちづくりの推進			
	誰に	鶺鴒文化を支えるコミュニティ(岐阜市民 約40万3千人、鶺鴒匠 6軒、職人 数名(近年減少)、観光業関係者 多数、地方自治体 岐阜県・関市・日上市等、国機関 文化庁・宮内庁等、学識経験者 多数、NPO 多数)			
	どのくらい	無形文化遺産登録の達成による市民のシビックプライド向上及び「世界のGIFU」、「世界のUKAI」としての観光ブランドの確立			
令和3年度(実施内容)	【Ⅰ】ユネスコ申請準備…情報収集及び整理分析 【Ⅱ】魅力発信…「長良川鶺鴒未来シンポジウム2022」の開催に向けた準備 【Ⅲ】保存活用…保存活用計画の文化庁長官認定、岐阜長良川鶺鴒保存会制度改革、鶺鴒舟の造船・舟大工育成 【Ⅳ】総合調査…鶺鴒の生態調査、鶺鴒屋地区詳細調査				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,800	200	6,500	200	6,460	200
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	6,800	200	6,500	200	6,460	200

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		5,564	2,653	66,690
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	旅費	820	372	180
	委託料	2,958	0	0
	負担金補助及び交付金	698	971	66,260
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,564	2,653	66,690

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	12,364	9,153	73,150

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金		900	
市債			
使用料・手数料			
その他	1,555	483	
計(F)	1,555	1,383	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	10,809	7,770	73,150

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民、鶺鴒観覧者等	岐阜市民、鶺鴒観覧者等	岐阜市民、鶺鴒観覧者等
受益者数	220,000	220,000	220,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	49	35	333

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	委員会の開催回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2	2	2	2
実績値	1	2	2	1

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	「岐阜市の魅力は何か」という質問に対する「鶺鴒」という回答の割合・順位			単位	%・順位
	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
目標値	58.0%・3位	58.0%・3位	58.0%・3位		
実績値	57.8%・4位	55.0%・4位	55.0%・4位		
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	鶺鴒文化は市民にとって魅力ある存在であり(R3市民意識調査第4位(55.0%))、さらなるブランディングは社会のニーズに合っている。コロナ禍を乗り越えるべく新たな時代を生きる市民にとって、無形文化遺産登録という夢は、今こそ希望の光となりうる。 鶺鴒文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していくには、鶺鴒匠たち継承者、行政、市民、応援団をはじめとする各種団体など、オール岐阜で取り組む必要がある。その中でも、市がリーダーシップをとり、事業の先導役を担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	鶺鴒文化は市にとって重要な観光資源であるとともに、1,300年以上の歴史と伝統を有する文化遺産である。本物志向の観光まちづくりを推進していく上で、鶺鴒文化のさらなるブランディングを行い、国内外にアピールしていく効果は高い。 鶺鴒文化の確実な保存・継承に直接的な効果をもたらす取組が急務であるが、鶺鴒文化を支える技術の担い手は県内各地に分布しており、鶺鴒文化に関連する河川や山林なども複数の市町にまたがるため、広域的な事業展開が求められる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	【IV】総合調査の成果として、平成27年に「長良川の鶺鴒漁の技術」が国重要無形民俗文化財に指定、『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜が日本遺産に認定、『清流長良川の鮎〜『里川』における人と鮎のつながり〜』が世界農業遺産に認定された。 【III】保存活用の成果として、令和3年7月に保存活用計画が民俗文化財としては日本で初めて文化庁長官の認定を受けた。また、保存活用計画に基づき、岐阜長良川鶺鴒保存会の体制を整備し、鶺鴒舟の造船・舟大工育成を推進。完成した鶺鴒舟を鶺鴒匠の一人が現在使用している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	文化財は、わが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできない国民的財産である。国重要無形民俗文化財「長良川の鶺鴒漁の技術」をはじめ、様々な文化財で構成される長良川鶺鴒文化を未来へと継承する本事業において、その利益は国民、特に市民が等しく享受すべきものである。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	従来「鶺鴒の総合的調査事業」として【IV】総合調査を重視してきた本事業だが、令和2年度に事業全体を大きく見直し、「長良川鶺鴒文化未来継承事業」へと改善。鶺鴒文化の未来への継承を真の「目的」とし、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組を「手段」として位置付けた。事業内容も、【II】魅力発信や【III】保存活用など、多岐にわたる事業が展開できるように再構築。当面は現状維持としつつも、常に課題意識を持ち、必要に応じて事業の改善を進めていく。 ※令和3年度より観光事業特別会計(鶺鴒報償費)から66,000,000円組み換え

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 014

【1.基本情報】

事業名	日本遺産推進事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会
実施期間	平成27年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	平成27年度に日本遺産第1号に認定された「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」を全国にPRする。				
事業の内容	情報発信、日本遺産ガイド育成、再現映像作成、日本遺産サミットにおけるPR事業等				
事業の 対象	何を	日本遺産による岐阜市の認知度向上、ブランド化、地域の誇りの醸成			
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客			
	どのくらい	岐阜市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供			
令和3年度 (実施内容)	日本遺産ガイド育成事業、岐阜市文化財誘導看板作製・設置事業、岐阜市文化財説明板作製・設置事業および修繕事業、日本遺産サミットでのPR、まっふる岐阜市改定作成、日本遺産を通じた新たな地域活性化計画策定等。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,360	40	1,300	40	1,292	40
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,360	40	1,300	40	1,292	40

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		7,014	5,154	6,617
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	負担金	7,014	5,154	6,617
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		7,014	5,154	6,617

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,374	6,454	7,909

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金		4,146	4,086
県支出金	2,400		
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	2,400	4,146	4,086

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,974	2,308	3,823

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民、歴史ファン	岐阜市民、歴史ファン	岐阜市民、歴史ファン
受益者数	10,000	10,000	10,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	597	231	382

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ツアーガイド育成数		単位	人
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	20	20		20
実績値	30	30		18

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	満足度(ツアー参加者アンケート)		単位	%
	令和元年度	令和2年度		令和3年度
目標値	90	90		90
実績値	84	92		91
達成状況	×(未達成)	○(達成)		○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	国が認定する日本遺産をPRする事業であり、観光誘客にも効果が高い。 民間団体も含めた協議会で実施しているが、文化庁とも連携する必要があり、道三公・信長公のまちとして全国に発信し、本市の観光振興にも資するための事業として、市が関与する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	道三公や信長公を活かしたまちづくりや観光誘客を行う上で、効果が高い。 協議会だけでなく、民間団体と協働して道三公・信長公のまち岐阜をPRしていくことで、さらに都市ブランドを構築していくことができる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	全国に道三公・信長公のまちとしての本市の独自性をアピールすることに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	本市の魅力を来訪者が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	「日本遺産」そのものの知名度を向上させることが必要であり、国や他の認定地域と連携して事業を進める必要がある。 道三公・信長公のまち岐阜を全国にPRするために、ガイド研修事業等を通じて、人材を育成する必要がある。 日本遺産の補助金は平成29年で終了。令和2年度から3か年計画にて、地域文化財総合活用推進事業(地域計画等)の補助金制度を活用。事業内容について随時検証していく必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0660080 _ 015

【1.基本情報】

事業名	岐阜まつり記録保存調査事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	令和2年度～令和7年度	根拠法令・関連計画	岐阜市文化財保護条例第1条、第22条		

【2.事業概要】

事業の目的	地域の伝統文化である岐阜まつりの調査を実施し、調査報告書の刊行並びに映像作成を通じて、文化財的価値を一層明確化し、県の指定文化財を目指す。				
事業の内容	調査委員会を組織し、委員会の指導のもと祭礼に関わる各分野の専門家(民俗、文献、建築、金工等)に依頼し、記録保存調査を行うとともに、山車、神輿等の実測、撮影を行い、『(仮称)岐阜まつり総合調査報告書』にまとめ刊行する。				
事業の対象	何を	市無形民俗文化財を活かした観光・交流の活性化			
	誰に	岐阜市民			
	どのくらい	県無形民俗文化財へのランクアップと観光資源としての活用			
令和3年度(実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜まつり文化財検討委員会の設置及び調査 山車4台の実測及び構造調査 山車奉曳を行う各地区の輪番や祭り前後のタイムスケジュール等の調査 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	-		650	20	678	21
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	-		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	-		0		0	
計(A)	-	-	650	20	678	21

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	20	2,964
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委員、調査員の謝金	-	19	192
	委員、調査員の旅費	-	1	22
	山車実測委託料			2,750
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	0	0
計(D)=B+C		-	20	2,964

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	670	3,642

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金		98	1,482
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	-	98	1,482

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	572	2,160

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者		岐阜市民	岐阜市民
受益者数		-	-
受益者負担額(千円)		0	0
受益者負担率(%)	-	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	山車実測図面の作成		単位	台
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	-	-	4
実績値	-	-	-	4

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来訪市民及び観光客数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	-	-	-
実績値	-	-	-	-
達成状況	-	-	-	-

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜まつりの歴史的・文化財的な価値を明らかにすることで、将来的に市民共有の財産として、また歴史・観光資源として大きな役割を果たすことが期待できる。また、昨今の新型コロナウイルスの流行により、地域伝統行事が伝承や継続の面で危機的な状況にある中で、現在の祭りの姿を記録することで、岐阜まつりが将来に渡って伝承されていくための土台作りにつながる。 地元自治体の推薦者も含めた委員会の指導の下、調査を実施しているが県文化財部局、専門家との連携が必要であり、本市の観光振興にも資するための事業として市が関与する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	将来的に歴史・観光資源として観光振興等の地域活性化に寄与するものであり、岐阜市域で住民によって営まれてきた土着文化を記録し、後世に伝承していく意味でも、効果は非常に大きい。 周辺住民の理解も含めて、事業推進にあたっては市民協働を意識し、必要に応じて地元住民に調査への協力をお願いする。また、民間活用も検討しながら効率的な手段を検討しつつ事業を推進していく。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	将来的に歴史・観光資源として観光振興等の地域活性化に貢献することが期待でき、岐阜市を代表する祭りの1つとして非常に大きな効果が見込める。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	当事業の成果は、本市の財産として市民が等しく享受するものである。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	地元自治体や保存会との連携、関係法令や計画との整合性、庁内関係課等との調整を意識しながら事業を推進する。